

2022年10月16日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうぎょうかい</sup>久宝教会  
第65巻第27号(通算3309号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
週報

教会標語

<sup>かみさま</sup>神様がすべての人<sup>ひと</sup>と共<sup>とも</sup>におられる  
ことを証<sup>あかし</sup>ししていく教会<sup>きょうかい</sup>



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

せいれいこうりんせつ  
聖霊降臨節  
だい しゅじつれいはい  
第20主日礼拝



《<sup>れいはい</sup>礼拝はインターネットで<sup>ちゅうけいはいしん</sup>中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
<sup>しちょう</sup>ご視聴いただけますので、それぞれの場所<sup>ばしょ</sup>で共<sup>とも</sup>に礼拝<sup>れいはい</sup>をしていただけます》

ぜん そう もくとう 前奏(黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば 招きの詞 詩編 121編 7-8節

さんびか 賛美歌 21-453番「何ひとつ持たないで」(©JASRAC)

せいしよ 聖書 エレミヤ書 31章 27-34節

いの 祈り

さんびか 賛美歌 21-484番「主われを愛す」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ 「胸の中へ」 岡嶋 千宙 伝道師

さんびか 賛美歌 21-148番「全地よ、主に向かい」(©教団讚美歌委員会)

しゅいの 主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの 献げ物 (\*)

はけん 派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく 祝福 岡嶋 千宙 伝道師

こうそう 後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほうこく 報 告 (4頁<sup>ページ</sup>をご参照<sup>さんしょう</sup>ください)

《<sup>となり</sup>お隣と<sup>かんかく</sup>間隔をあけて、<sup>せき</sup>席にお<sup>すわ</sup>座りになったままで<sup>れいはい</sup>礼拝にご<sup>さんか</sup>参加ください》

\* 「<sup>ささげもの</sup>献げ物(<sup>けんきん</sup>献金)」は<sup>さんかひ</sup>参加費では<sup>ござい</sup>ございません。

<sup>うけつけ</sup>受付に<sup>けんきんばこ</sup>献金箱が<sup>ござい</sup>ございます。ご用意のある方のみ、<sup>ささ</sup>お<sup>ささ</sup>献<sup>げ</sup>げ<sup>くだ</sup>ください。

招きの詞 詩編 121 編 7-8 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

7 主はあらゆる災いからあなたを守り

あなたの魂を守ってくださる。

8 主はあなたの行くのも帰るのも守ってくださる。

今より、とこしえに。



聖書 エレミヤ書 31 章 27-34 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

27 その日が来る——主の<sup>おお</sup>仰せ。私はイスラエルの家とユダの家に、人の種と動物の種を<sup>ま</sup>蒔く。28 かつて、引き抜き、壊し、破壊し、滅ぼし、災いをもたらすために彼らを見張っていたが、同じように、建て、植えるために彼らを見張る——主の仰せ。

29 その日には、人々はもはや

「父が酸っぱいぶどうを食べると

子どもの歯が浮く」とは言わない。

30 人は自分の<sup>あやま</sup>過ちのゆえに死ぬのだ。酸っぱいぶどうを食べる人は、誰でも自分の歯が浮く。

31 その日が来る——主の仰せ。私はイスラエルの家、およびユダの家と新しい契約を結ぶ。32 それは、私が彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に結んだ契約のようなものではない。私が彼らの主人であったにもかかわらず、彼らは私の契約を破ってしまった——主の仰せ。33 その日の後、私がイスラエルの家と結ぶ契約はこれである——主の仰せ。私は、私の律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心に書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。34 もはや彼らは、隣人や兄弟の間で、「主を知れ」と言って教え合うことはない。小さな者から大きな者に至るまで、彼らは皆、私を知るからである——主の仰せ。私は彼らの<sup>ゆる</sup>過ちを赦し、もはや彼らの罪を思い起こすことはない。

## 《先週のメッセージより》2022年10月9日

メッセージ「もうダメだ、では終わらない」より

牛田匡牧師

聖書 創世記 32章 23-33節

今回のお話は、古代イスラエル民族の父祖の一人ヤコブの物語でした。双子の兄と父をだまして、父の祝福、財産相続権を横取りした彼は、兄から命を狙われて母の実家に逃げていました。20年の歳月が過ぎ、ヤコブはその間に手に入れた妻子や召使い、たくさんの家畜たちを連れて故郷に戻ってきます。しかし、未だに兄は自分を赦していないかもしれない。彼の心の中は不安と迷いでいっぱいでした。後は川を渡るだけだ、という所で、彼はなぜか夜中に、家族や召使いたちに川を渡らせ、自分一人だけで残ります。そしてそこで彼は突然一人の男から襲われ、夜明けまで格闘し続けました。その格闘の末に、彼は「あなたの名はもはやヤコブではなく、イスラエルと呼ばれる」と告げられ、男から祝福されました。

彼の名前が「人を騙し、<sup>だま</sup>欺く者」を意味するヤコブから、「神と闘い、神が守りたもう人」を意味するイスラエルへと変えられたというのは、その生き方全部が変わったということです。彼は川辺で一人、神様と出会い、夜通し格闘することによって変えられたのでしょうか。兄との再会を前にして、不安で仕方なく、自分として考えられる、なし得る限りの対策を講じたけれども、やはり最後の川を渡りることができない。かと言って、一人で来た道を引き返すわけにもいかない。もうどうしたよいか。もうダメだ。そんな苦しい状況の中、神様の方からヤコブの所にやってきてくれました。目に見えないはずの神様が、目に見える男の姿となって現れ、互いに取っ組み合うほどに関わりを持ってくれ、そして最終的には祝福をしてくれました。この物語は、私たちが思う「もうダメだ」では、まだ終わりではない、ということを示してくれる物語でもあります。目に見えない方が目に見える姿となって、私たちと深い関係を持たれたというのは、クリスマスに生まれたイエス・キリストの物語とも重なります。イエス様は十字架で殺された後、死から引き起こされました。そこに死を超える復活の命、「もうダメだ」では終わらない命の神と共に歩む絶対の命があります。

様々な閉塞感を感じる現代社会です。信仰心があっても、不安や迷い、悩みがなくなるわけではありません。しかし、「もうダメだ」とも思える中で、それでも祈りながら、悩みながら模索しているその最中にこそ、神様との出会い、神様との取っ組み合いがあるのではないのでしょうか。そしてその末にこそ「やっぱり、この道でいいんだ」との確信、神様からの祝福が与えられたのではないのでしょうか。今日これからも、神様が共にいてくださいます。そしてそのことに信頼しながら、私たちは神様の大きいなる計画の中に、一步一步歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 10月9日 聖霊降臨節 第19主日礼拝

主日礼拝出席 大人5名 中継動画再生数 5回  
 献金 大人6,000円 感謝

◎次週 2022年10月23日(日) 収穫感謝(降誕前第9主日) 礼拝

招きの詞 詩編 96編 7-9a節

聖書 使徒言行録 14章 8-18節

メッセージ 「神の業の現れるところ」牛田匡牧師



賛美歌 21-223番(©改訂委)、こ改102番(©出版局)、21-386番(©出版局)

礼拝は、インターネットで中継配信いたします。「収穫感謝礼拝」として、お米やお野菜、果物などの大地の恵みをお献げくださる方は、お持ちください。献げられた収穫物は、釜ヶ崎支援のためいこい食堂に献品致します。なお礼拝後には併せて「おにぎり作り」も行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に「聖書を読む会」をいたします。『創世記』の38章を読む予定です。テキストはコピーを配布いたします。どうぞご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・10月22日(土)13:50~15:35に、エルシアター(エルおおさか2F・天満橋駅下車徒歩)にて、「とめよう! 戦争への道 めざそう! アジアの平和 2022秋 関西のつどい」が開催されます。発題は、新垣邦男さん(衆議院議員)「沖縄復帰50年—沖縄からの告発」、佐々木寛さん(新潟国際情報大学教授)「大軍拡、改憲を撃つ」、藤本和貴夫さん(大阪大学名誉教授)「ロシアのウクライナ戦争の停戦を求める」です。事前申込は不要で、当日、資料代:500円(中高生・介助者無料)、手話通訳があります。閉会后、扇町公園までデモがあります。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
10/23	牛田牧師	収穫感謝礼拝・おにぎり支援
10/30	岡嶋伝道師	誕生者祝福式
11/6	水谷牧師	(愛児祝福月間) 召天者記念礼拝・聖餐式 13時半~王寺墓地墓前礼拝(牛田牧師) 15時~第二好意の庭・召天者記念礼拝
11/13	岡嶋伝道師	(愛児祝福月間)(障がい者週間)

## 10/22 とめよう! めざそう! 戦争への道 アジアの平和 2022秋 関西のつどい

(あらかき・くにお)

**新垣邦男さん**  
衆議院議員



(ささき・ひろし)

**佐々木寛さん**  
新潟国際情報大学国際学部教授



10月22日(土)  
13:30開場~  
13:50開会  
~15:35閉会  
於:エルシアター  
(エルおおさか2F)  
※裏面地図参照  
資料代 500円  
※手話通訳あり  
(中高生・介助者無料)

「沖縄復帰50年—沖縄からの告発」

「大軍拡、改憲を撃つ」

開会后 **デモ** 予定




憲法九条

主催:とめよう! 戦争への道・めざそう! アジアの平和  
2022秋 関西のつどい実行委員会  
(大阪教組/大阪平和人権センター/しないさせない戦争協力関西ネット  
ワーク/戦争をさせない1000人委員会・大阪)